

OLC+ オアシスライフ・ケア

私たちは、2011年3月11日の東日本大震災を機に
オアシスチャペル利府キリスト教会によって設立された非営利のボランティアグループです。

※法人設立準備中

目次

巻頭言

専任スタッフ國分（SHIZU 革プロジェクト担当）からの挨拶です。

ページ 1

活動報告

被災地の今…。私たちの支援活動を紹介します。

ページ 2-3



団体情報

スタッフや協力団体の紹介、また支援のお願いについて記しました。

ページ 4



巻頭言

覚え続ける

2014年1月1日、私は仙台市内の義理の祖父母宅を訪れました。震災直後、私はアパートを離れて一か月余り祖父母宅で避難生活を送りました。カイロで暖をとったこと、店頭で数時間並んで手に入れたソーセージをみんなで分け合ったこと、雨水を貯めてトイレの排水にしたこと、体の痒さにたまりかねて水風呂に入ったこと、座布団を布団代わりにしていたこと…。全てが祖父母宅で繰り広げられたことです。あれから1000日。震災後三度目の正月に、暖かい部屋でおせち料理を楽しんでいると、それらはもはや懐かしい思い出の様であり、震災はまるで過去の出来事であったかのようにすら錯覚してしまいます。

折しも、河北新報（宮城県の地方紙）の元日朝刊一面の見出しは、『「児童に震災影響」7割』というものでした。宮城県沿岸部で被災し



あわれみ深い者は幸いです。その人たちはあわれみを受けるから。

新約聖書・マタイの福音書より

た小中学校の約七割が、児童生徒に震災によると考えられる影響が“現在もある”と受け止めているとの内容でした。家計が苦しいことや、家庭での学習環境の確保が困難であることが際立っていました。また、私は福島県二本松市の出身ですが、実家の除染

は昨年12月によく行われました。毎週通っている南三陸町では、町民の約3分の1にあたる5500名程の方々が未だに仮設住まいです。客観的な現状のほんの一部を見ただけでも「過ぎ去った出来事ではない」ことは明らかです。

SHIZU革プロジェクトが目的の一つとする「風化防止」は、過去を思い返すことに限りません。被災地のこのような現在や、強いては未来に関心を寄せることも含みます。「思い出す」というよりも「覚え続ける」こと。私自身も痛感している課題です。SHIZU革を身に着ける度に、少しでも覚えていただければ幸いです。

専任スタッフ 國分圭介

来てけさいん ツアー

2013年10月21～24日、3回目の被災地スタディツアーを行いました。今回は北海道と関東方面から、様々な思いを胸に参加者が来られ、一緒に被災地を回らせていただきました。今回新たに、石巻市、南三陸町、東松島市の他に、仙台市内の被災沿岸部「蒲生(がもう)地区」も訪問しました。参加した方々は、都市部でも復興が遅れている現状を目の当たりにし、驚いておられました。

被災地をじっくり回り、地元の方々のお話に耳を傾け、参加者同士でディスカッションを重ねていく中で、参加した方々の心境が次第に変化していく様子が見られました。ある方は、「被災地がずっと気になって、関わりたいと願いながら何もできない自分に責めを感じていた。しかし今回、被災地で起こっていることを直接知ることができ、自分にもできることがあると分かりました。責める思いから解放されました。」と語っておられました。

震災遺構が取り壊されつつある今。神様は私たちに何を見せたいと願っておられるのでしょうか？この時代、この場所に置かれた者の使命として、今後もスタディツアーを継続させていきます。



参加者の声

「イメージと全然違っていた。テレビで見ると実際に現地に立つのとでは大きな差がある。」

「『あの震災と今、どう向き合ったらいいか分からない』というのが私の現実でした。このツアーに参加して、心のモヤモヤが解決しました。」

『ぴったりプラン』の受け付けを開始しました！

たくさんの反響をいただいております被災地スタディツアー来てけさいんを、2014年はリニューアルして皆様にお届けします。日程・内容など、お客様のご都合を伺った上で自分に合ったツアーが組める「ぴったりプラン」をスタート！お気軽にスタッフまでご相談ください（先客がある場合や、スタッフの都合によりご希望に添えない場合もあります。なるべくお早めにお問い合わせください）。

これから先、被災地の「外」におられる皆様の存在がより重要になってきます。被災地に来ていただくこと、関心をもって情報を広めていただくことが大きな助けになります。「まず、おらほさ来てけさいん！」（どうぞ、宮城県までお越しください）

□ツアー概要

- ・実施期間：2014年 3月～11月
- ・日 数：3泊4日（通常プラン）
- ・料 金：¥29,800(税込)～
- ・宿泊場所：森郷キャンプ場（宮城県利府町）
- ・対 象：18才以上
- ・『ぴったりプラン』対象：最低「5名以上」の団体様より

（※滞在中の食費・宿泊費は料金に含まれておりますが、宿泊場所までの交通費は含まれておりません）

□ご相談・お申し込み

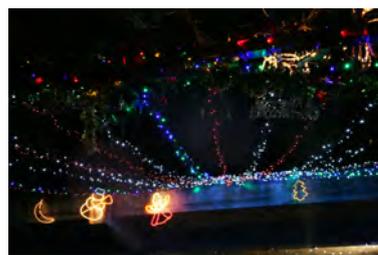
- ・電 話：022-356-2045（森郷キャンプ場 担当：三浦）
- ・E-mail：camp-morigo@oasis.email.ne.jp

東松島市・矢本地区

仮設住宅にあったか〜いクリスマスをお届けしました！

2013年12月14日、昨年に引き続き東松島市の矢本運動公園仮設住宅前のイルミネーション点灯式をお手伝いさせていただきました。当日は今年一番の寒さにも関わらず、たくさんの人たちが集まり、温かくて美味しいお汁粉、心に響くゴスペルソングとクリスマスメッセージを味わって、体と心にあったか〜いクリスマスと一緒に過ごしてきました。今回は約30名で伺いましたが、これまでにコンサートやお茶っこ会など、何度か訪問していたこともあり、仮設住宅の皆さんは「あら〜、元気だった〜?」「いつも、ありがとうね〜!!」と顔見知りの訪問を喜んで、歓迎してくださいました。

点灯式が終わった後も、多くの人たちがその場に留まって一緒に温かいお茶を飲みながら立ち話を続けました。その様子を見ながら、大きなイベントを終えた達成感以上に、一緒に喜びや楽しみを分かち合える関係になってきたことに感動を覚えました。矢本の皆さんとの出会いに感謝しつつ、今後も関わりを続けていき、もっともっと喜びや希望を分かち合える関係にされていきたいと願っています。



石巻市・寄磯地区

東北の寒い冬、あったか支援を継続しています！

寄磯浜に足を運ぶ度に新しく復旧の様子を目にすることができず。皆様からのご支援に感謝いたします。震災前はホヤの加工を中心として稼働していたヤマボシ渡邊商店水産加工場が、昨年10月に再開しました。また、協力団体・海友支援隊さんが中心となって労し、津波で流出してしまった集会所の代わりに新しい集会所を建設中です。来春には寄磯浜の人々が安心して集える場所がやっと与えられます。徐々に復旧・復興に向かっていくことを嬉しく思います。

一方で、漁師さんたちの話を聞くと、漁港の完全復旧にはあと数年先を見なければならず、仮設住宅の方々の移転先になっている災害公営住宅もまだ着工すらしていません。漁師さんたちは船を岸壁に停泊することもできず、仮設住宅の方々はストレスの大きな暮らしが続きます。まだまだ時間がかかります。

忍耐を続ける寄磯浜の皆さんを応援すべく、この冬も厳しい寒さを乗り越えるための灯油支援を、海友支援隊さん、Convoy of Hopeさんと協力して行っています。復興を祈りつつ、これからも出来る限りの支援を続けていきます。どうぞ、引き続きご協力ください。



フィリピン支援

2013年11月、大型台風がフィリピンを襲いました。報道では、死者5千人以上、150万人以上が避難生活を強いられているとのことでした。東日本大震災において世界中からの支援をいただいた者として「何か出来ることはないか」と調べたところ、グローバルギフトネット(GGN)さんというNPOが夏服や履物を集めているということを知りました。早速、教会でPRをして集めさせていただいたところ、物資がどんどん集まり、大きめの段ボール21箱分になりましたので、梱包して取り急ぎ発送させていただきました。「あの3.11の際、私たちの元へ支援物資を送ってくださった方々は、このような気持ちで、いてもたってもいられず送ってくださったのだらうなあ。」としみじみ感じました。



ご協力をお願い

皆様からのご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。私たちは今後も、復興のために、長く、効果的な働きを続けていきたいと願っています。引き続きご協力をよろしくお願い致します。

支援金窓口

《三菱東京UFJ銀行》

支店名：仙台支店 口座番号：普通 0242364
口座名：オアシスライフ・ケア 代表 松田牧人

《ゆうちょ銀行》

- ・他金融機関より
店名：八一八（読み ハチイチハチ）
口座番号：普通 4130375
口座名：オアシスライフ・ケア
- ・ゆうちょ銀行より
記号：18110 番号：41303751
口座名：オアシスライフ・ケア

※ 定期的に発行しているニュースレターをご所望の方は、お手数ですが当方までご連絡ください。

※ 過去の活動レポートは当方のウェブサイトで閲覧いただけます。

(<http://oasislifecare.org>)

関連情報

スタッフ

- 松田牧人（代表・オアシスチャペル利府キリスト教会 牧師）
- 郡山英明（専任・会計 担当）
- 國分圭介（専任・SHIZU革、南三陸町 担当）
- 菊地祥彦（石巻市 担当）
- 松田 献（ゴスペル、東松島市 担当）
- 三浦良太（森郷キャンプ場 担当）

連絡先

- 事務所：宮城県宮城郡利府町中央2-5-1（利府キリスト教会内）
- TEL&FAX：022-356-2494（利府キリスト教会と兼用）
※SHIZU革に関するお問い合わせは 022-356-9443 へ
- E-mail：info@oasislifecare.org

Webサイト

- Webページ：<http://oasislifecare.org>
- Facebookページ：<http://www.facebook.com/OasisLifeCARE>
- Twitter：<http://twitter.com/#!/OasisLifeCARE>

賛同者

- 尾山清仁・キャシー（聖書キリスト教会東京教会・牧師）
- 加賀洋子（ASKアカデミー・ジャパン株式会社 CEO）
- 葛西浩二（有限会社テレビジョンワークス・代表取締役）
- Kaz Kato（ミュージシャン）
- 郡山榮次郎（心療内科医）
- 後藤献児朗（有限会社サブ介護センター 代表取締役）
- 篠田真宏（ゴールデンルールリミテッド・代表）
- ジェイソン・エワート（作家・Australian of the Year nominee 2007）
- 中村佐知（翻訳者／心理学者〈Ph.D.〉／JCFN理事）
- 日野 哲（東北学院大学・総務部長）
- 広崎仁一（ヒューサーブ代表）
- 藤掛 明（聖学院大学総合研究所・准教授／臨床心理士）
- 藤原淳賢（聖学院大学総合研究所・教授／恵約宣教教会・牧師）
- 松田和憲（関東学院大学工学部・教授／関東学院教会・牧師）
- 渡邊忠雄（元 東北大学大学院工学研究科・教授／中国〈瀋陽〉東北大学・客員教授）

協力団体

- 一般社団法人 海友支援隊 www.kinka-hoya.com
- 一般社団法人 CRASH Japan www.crashjapan.com
- 一般社団法人 サマリタンズ パース www.samaritanspurse.jp
- NPO法人 音楽で日本の笑顔を smile-chorus-npo.org
- 宗教法人 日本バプテスト同盟 www.jbu.or.jp
- 聖書キリスト教会東京教会 seishokirisuto.com
- Bridges For Peace JAPAN www.bfpj.org
- ホープみやぎ www.hopemiyagi.org

※50音順／敬称略／2014年1月19日現在